



本当に必要？ 救急車はいのちをつなぐ乗り物です。適正利用にご協力を！

これらの制度をご利用いただくためには、あらかじめ消防本部に申請書を提出し、ご登録いただく必要が

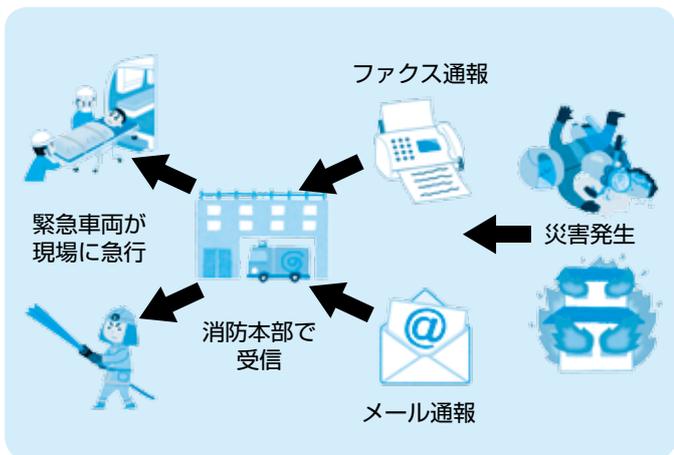
- **ファクスでの緊急通報**
ファクスの送信機能がある固定電話で、所定の用紙を送信いただければ消防本部で受信できます。
- **メールでの緊急通報**
(携帯電話、スマートフォン)
決められたアドレスにメールを送信いただければ消防本部で受信できます。

聴覚、音声および言語機能障害などにより、会話が困難で緊急通報が難しい方の通報手段として、消防本部では次の方法で通報いただけます。

聴覚障害者・言語障害者の方のための緊急通報(119)支援

あります。制度に関するパンフレット・申請書などは、消防本部・消防署・役場各庁舎（行政局・出張所含む）窓口にあります。

詳しくは、有田川町消防本部ホームページをご覧ください。消防本部通信指令課まで。



消防だより

有田川町消防本部 ☎52・5950
 吉備金屋消防署 ☎52・5950
 清水消防署 ☎25・1243
 病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

| | |
|----|-------|
| 火災 | 13件 |
| 救助 | 1364件 |
| 救急 | 21件 |

(平成28年12月31日現在)

昨年の出動など(累計)

防災マメ知識 製品火災

日常生活の中には、電気用品、燃焼機器、自動車など、多くの製品が使われています。これらの製品を使用することで日常生活が豊かになった反面、製品の誤った使い方や故障による事故や火災が発生しています。今回はよく使用される製品からの発火についていくつか紹介します。

製品火災から身を守るために...

● ヘアドライヤーから発火!

コードに無理な力がかかった状態で使用し続けると断線し発火、やけどや火災の発生も。



コードは伸ばして使用、収納はコード根元に無理な力がかからないように。

● 携帯電話・スマートフォンから発火!

落下や踏みつけたりした強い外力で電池パックが変形、内部でショート、異常発熱で破裂し、発

火することもありません。また、コネクタなど変形している場合は使用しないでください。



● 電子レンジから発火

内部に食べ物の汚れが付着し、汚れに電磁波が集中して発火することがあります。こまめに掃除してください。



● ボタン型電池から発火

上面の平らな部分と側面がプラス、下面の少し出っ張った部分がマイナスという構造になっています。



入れる方向が違ったり、ボタン電池が重なりあったりすると、一方の電池が導線として働き、ショートして発熱、破裂するおそれがあります。

製品を使用する際は、取扱説明書をしっかり読み、正しく使用しましょう!

付けましたか? 住宅用火災報知器



全ての寝室と階段(2階に寝室がある場合)に必要です。正しい場所に設置されているか確認してください。